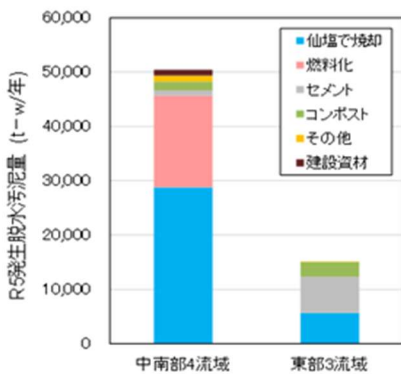


(仮) みやぎ県北広域汚泥肥料化事業（下水汚泥肥料化施設DBO事業）について

1 事業の実施について

県が管理する東部の3流域下水道では、発生する下水汚泥の処理において、民間処理の割合が大きいことから、処分費用高騰の影響が大きな課題となっている。そのため、汚泥処理コストの低減やCO2削減の効果が期待できる、下水汚泥肥料化施設の導入を行うこととしたもの。

また、経営が厳しい複数の市町の公共下水道も共同参画して実施する予定。



2 事業の概要

- 事業規模：計画日最大汚泥量 55 t/日（流域41 t、公共14 t）
- 事業期間：令和8年度から施設の設計・整備、20年間の維持管理を実施
- 事業費：約 150 億円（建設費約80億円、維持管理費約70億円）
- 整備場所：東部下水道事務所管内の3流域のうち1か所へ集約整備
- 事業手法：DBO方式
- 共同処理：石巻市、登米市、栗原市、大崎市、気仙沼市、涌谷町、松島町の7市町より参画意向
- 事業効果：約3割の維持管理費削減、約2割のCO2削減、共同処理による事務軽減等、広域化・共同化に貢献。

3 予算の執行

年度	令和8年度	令和9年度	・・・	令和31年度	備考
事業年数	1年目	2年目	・・・	24年目	
当初予算	50百万円				本議会計上
債務負担行為			12,040百万円		

運搬費等約3,000百万円を見込む